

外科書上

一

外科ノ元ヲタツ子テ曰藥ハ天アリ理ハ猶同シ藥ノ成ス所ヲ
 知テ腫物ニ焦スルヤウニ遣ハ聖人ノ德也、聖我為ニ藥オラ
 作テ予フ必ス藥之性ヲ知ント不可思只能藥オラヲ取テ腫
 物ヲテ、其オラ能覺事早シ一味ノ心ヲ知テツカワント思
 ハ患カナリ寒腫ヲ執大茶ニテ能スルト思モ患也熱ニテ熱ヲ
 能シ寒ニテ寒ヲ能スル事一道ニ不究予四拾年ノ自諸
 國ヲ修行メ病人ニアタル事一カニ過タルカト覺去死キヤメテ
 外科之心曾以不覺或能ト思ハ患ク成ル患ト思ハ五日不知
 平愈ス何ヲ得之事ヲナケクニ巧有人ニツノ有覺見事ヲ



語ラセ其シリエニ氣ヲ付テ少心得タリ然ルニ外科ハ其仕
掛ノ道ヲ聞ラ元トセスハ難成物ト氣ヲ付テ數年治スル所ノ
仕掛ヲロニ書出ス藥ヲハ天下ニミチククタリ只治スル所ノ
仕掛ヲ朝夕エマメ可見事第一也

一切ノ事ニ流義ヲ立ル内ハ修行ノ内也タトアル阿蘭陀流
之内之ヲ某ヲ能所計取り理モ同ク取大明流ノ内モ取物ニ
應スル所覺テ吾物ニ遣ラ自由ト言一代某ニツカワレテ
廻ル其道ニ暗ニ長崎ハ阿蘭陀ノ外科元也然ルレ珍キ
腫物ニ掛リ療治應タル外科ツイニ不聞藥ノナラス所ハ

日本國ノ外科ニ下チモ上チモナキ也然レハ某ニヨル物ニハ
アラスカリソメノ物ヲ妙業トトニテヨクスルハ藥ノスル所也
此ワケヲ安ホルニ能師傳ノナキユエナリ師傳ト云ハ切腫物
之仕掛也只仕掛ヲ習テ藥ヲ後ニ習事ニ氣ヲ付修行
有レシ洲言所ハ外科初有古有テ少心上ノセシギ也カリソ
メニモ巧有人ニ其賢キ道ヲ聞テ自エ支レテ心ヲハタラク
也クリカエシ此道理ヲガテセスハ成難キ物ト知レシ
一肥後熊本喜右衛門ト云者十四年ノ間悪瘡ヲ煩不治
病性兩足カニ立事不成面ニ赤キ瘡成呈少キ出性ノ

有是ラ皆三病ト云見之療治スル性瘡毒也則山歸來
 二十六日用テ治ス 右外ノ仕掛ハ筋延セ 筋ノ一仕
 掛ハ 一レヤキ草 小菱花 各一斗宛
 コロハ 杜仲 各十斗宛 竜眼肉五十斗
 柳葉世目 水五升入四升ニ煎シカミタル所ヲ
 煎タル草ヲ湯ニメ過メ身ノアツク成呈ムスナリ其
 後又クイトリ其上ニ油蘇ホヲ塗ル
 一土ノ油 琥珀ノ油 野菊油
 右三色過メキニテスリ付其上ニ膏葉

血花膏
 一ラレコロレヨ 玉明膏
白腦膏
 ゲリジウシテ(シレイブシ)

右三色等分ニセ木綿ニノ(廣クメ付ル其上ラハリ
 木ニテハルハリ木拵ヤウハ擲ラ六セ寸ニヒラク両ロラカ
 トノナキヤウニコシラエ直綿ニテ包足ノカニミラハリ木
 綿ニテイクエモ巻シテ直如此毎日仕掛ル也汁筋延ノ
 仕掛他家ニ不傳之可秘也右ノ山飯来五寶丹也
 一 同國永井五右衛門ト云士股外ニ腫物出シ十八年不治
 腫物ノ口寸四寸間ヲ直ニ所也外ニサントララ付内五寶
 也

一右ノ腫物膿白黒百ワタノコトク成物有リウニ切入アホスハシ
リコシワタニ人付ル折々凡シモクサニテヤクフタサトテ廿四
日ノ内ニ治ス

一筑後柳川田之尻新右衛門ト云士足腰ヒサノ下ヨリクルフニテ
ニ穴四十五有ル腫物廿四年不治

石仕掛上ラ毎日心ノ及呈ニ三百モ四百モ久クラメ片ハシヨリ
ヤフルフタ高川菜サントラ本綿ニ延奉、毎日右之仕掛内菜
五寶貝丹三十六日用テ其内ニ腫物平愈ス有、殺回ノ曰
ホ年不治外科内性ノ療治六拾人余ニ掛リ不治又悪性

ノ腫物四十日ヨリ内ニ治ス道理聞タキトノ事也予曰成口玉
姪キ腫物也其謂ハ廿四年足ノ内ニテ替ル有ナク足タスニ
テ有也只汁ヲ、ラロカ成ニ依テ也口ハ有ニテモ内ハニツ
セ皮肉ノ間ヨリ口明タル腫物故サテ上ノ皮ヲ灸ニテ燒取
内ヨリ山歸来葉用治ス是ユマ也ト言

一廣嶋ニテ甲平左衛門ト云士痔ヲ十二年出シ不治肛門ヨリ一
寸脇ニ穴五ツ漏ノ性也仕掛ノ事サリ呈ノ間メイテヤニアホス
ハシリヲ合サシフタニサシトララメヒタ物膿ヲ抜其後赤膏
膏ヲカメク子リコヨリノヤウニメ中ニ入毎日取替五回呈ニ

一度宛水ツキニテ洗葉ヲ以テ洗イ取替々々療治メ六十
四五日ニ治マシ療治惡食房事ヲ堅ク一年ツシニ子ハ本
ノコトク成モツトモ酒モ同シ

一同國ニテ宮内家人六名患ツト云者足ニ風毒出生メ治テト
ナゲ出シ足ニ成ル長崎ニ来リ阿蘭陀ニ廿日掛リ不食
飯國ス我是ヲ療治ス

一仕掛ハ前筋延ノ仕掛メ十五日其上ニテ高サ一尺呈ニク
ラカケヤウニ上ラ九ク足ヲノスルヤウニコレラアテ足ヲ其時
ヨリアタメテ是ニセ向ニキニリヤウノ重リ五ツ掛テラハ折

時ニ病人ノ舛ニニ三人モ押シカハリテラユサヌヤウニスル一度
ニトリカケルタリクニカクレハ痛出病人カニニシ又ズラルト
タエ入氣付用テ其後右ノ洗葉タシクニカケ同シ如此ニテ
四十日ヨリ内ニ収氣ス此療治江戶ニテカスハルイタシタルニヨ
リ吊モスル此仕掛除事ニアラス凡腫治メケイ不通ニテカ
ム事ナラス由見ノ直ニ成タルニアラス思フヨリ心易キ療
治也

一京都ニテ凡亀喜右衛門ト云者此ヲキノ内ニテ所負治メ
二年ニ成手カニ指モカハム右竹物延ノ仕掛ニテ四十日ノ内

テ本ノ手成右之心ヲ破千人ニ同意也

一 京都ニテ源光院殿御面ニ疔出御年ニアタルトカイニ出
腫上ル慶庵法吊ニ療治被仰付五巴草之入タル疔ニキ
付ルト一時ノ内ニ痛出熱甚有之ユ上ニ某ニ被仰付去
竜膏ニ付ニテ痛止愈息事五六日也此分ノ痛腫アハ
常ニ是ヲ付テ右ノコトクセ

一 京都ニテ道作法下疔出ス外科ハ奥田好庵法ヲ年七
拾ニ腫物出生ヨリ十三日コラ不明痛熱有之法白皇様
ヨリ某ニ被仰付四日ヨリ内ニ治ス療治仕掛右ノ書ニ

有ル通也其内内薬ホノカエタルト人夫多ノサレ引レタル巧
ト成ル天下ノ大醫ナレ疔腫物ニ成ハ時ラレサレナリ爰ニ
書出ハ此ワケヲシラセシカタメ也

一 京ニテサ四五ノ女ウレロニ腫物出テ穴ニツアリ腫物ノ間ニ寸
五分呈呈通テ三二粒ニ穴アリ穴ノ深サ六寸七寸呈メイチヤサ
ス七年不治京中ノ内外ニ掛ルレカレトセ不愈息某療治ニ
テ五十日ノ内ニ治ス療治仕掛ハ十四五日ノ間ハメイチヤソサス
メイチヤサアホスニ自散ヲ加サシフタニサントラ付其後
ニ善ヲ腫物ノヨリヒロクアテ内ニアタニナリノ通スルヤウニ

灸ヲ二十呈メ亦石ノシカケニシテ灸スル事七八日其内
某五寶丹ニ廻リ用テ治

一 此腫物ノシヨリ八十八年ヨリニ糸殿勤氣ヲ誥有時トコトナリ
氣分悪鋪ソクト熱モ出頭痛ツヨク目廻年足冷煩醫
見之補某ヲ用ルト後腫出口明石ノコトナリ可意得
一 京ニテ青地甚右衛門ト云者下疳治メ骨痛成テ一年年足
ナエ立居ナラス内外数人某用ケレモ少モ不良是ヲ請取
三十日ニタラス收氣ス一七日ヨリ内ニ痛止外ヨリノ仕掛ナレ内
某計也氣論ヲ云廻リニテ如石外ヨリシカケナキ所書出ス

五更

一 淀杉野清允衛門ト云士目ソキワ鼻トノ間ニ核テ皇腫物
山々口明膿出事一合呈メイチヤラサスニ三寸呈入メイチヤ
某如常フタ膏某サントラ如此メウニモソクヤニ三十日呈
ニメチヤ一寸呈ニ成テ膿ノ色赤色ニ成テ愈心見エ腫物前
ハ目モ不見腫物口明テヨリ見エ出明ニ成然モメイチヤ
一寸呈成テ不愈心一年後ニテ山飯来某一廻リ用見
ルニ成呈キヨシ亦用三廻リニテスキト愈ル此腫物類ナキ腫物
ナリ凡痔ノ性成リト後ニ全差裁ス

一阿波ノ者サカヤキト面ノサカイニ極星ノ腫物出呈不明事三
年石ノコトクアリテ赤ク有タルト云サテ口明テ後國テ色々
療治シケレ氏不治京ニテリ數人ニ掛ケレ氏不治某ニ見ス療
治ノ仕掛深サ六七分モ可有綿ニアホスハシリ合丹入是ニ
テ肉ヲ上ル事十日計也フタニサントラ如此アレハ愈モナカル
ヘキニ六七十日ニモ不愈安ニテ成ニシキト思ヒジタイシケ
レハ是非ト云石杉野清ヲ衛某弟子分ニ成タル故ニ不
成テ語ルニ清左衛門カ曰親ト右弟ト之服カカヤウノ腫物ヲ出
ス如右愈兼事六年然ルニ有出家ノラレエケルハ味

噌ヲ敷灸ラシ毎日アタニ九呈メ見ヨトラシヘケレニシケレハ三十日
ノ内ニ愈タルト語ニヨリ則此病人ニモ灸ラサレ余ニケレハス
ラノト愈ル是ハ心思フニ某ハ次ニメ只仕掛成ヘシ能ク可
工丈

一池亀中納言殿ニ瘻出ル時初ニ某ニ被俾付出ル時ヨリ腫
物ノ廣サ四寸余ノタイラトル其時某申ハ此腫物大切ノ
事ニ相見エ作間成間敷由達テ断ケレ是非仕様ニ
事故掛ル成呈輕キ瘻ナレ氏躰大キニ見ル故白人ハアフナ
ク見ル也此コトクノ腫物ハ中呈成腫物廣ク成ヨリ大事

トテ外科醫之事有也。醫サセヌタメカダヨリシタメニスル時ハ入
常ニ入事也。右ノ腫物三十日ヨリ内ニ治ス不替腫物ナ
レ氏心ノ千立ラ言シタメ記ス

一 武刃切テ帛屋丸右患ト云者身内ニ豆ノコトクノ小瘡出
内外三十人モ掛リ療治スル呈瘡フトリ腫熱心モアリナヤ
一 ス是ラ一メカサ氏云瘡瘡氏云ウルシニケ氏云某ニ掛ル
五川ニ平愈メ金子十兩得ル

此瘡ヒセシカサ也内ヨリ色々ノ業用外ニ及效メズキク大
豆ノコトクナリ業ニテ頌是ヲ見付テスリ業ニテスラセニ

旧目ニカレテ瘡ノラタフトテ上ニ浴タレ四合呈病ヲ見スル輕
事ニテ重キ様ニ成業料患外ニ取タル是カ真ノテカラ
ユエ書出ス

一 石川又四郎殿家来年四拾七八ノ男ナノ經瘡ヲ出ス此腫
物初ヨリ四寸呈ニメ身色ニメ痛ナリ出生ス此出ル時ノ歌々
灸ラメ愈ヘテ十月呈ノ後抄本忠急瘡ト云西元南瘡毒
ト云坂本養庵火毒ト云イツレモ不究某見スル瘡ト
イハハ本林雪仙瘡ニアラスト云某日火毒ノ火瘡出物
也子細ハ灸愈テ瘡出ル時ハ常ノ出生ニアラス氣ノ

涕ニ灸メ其不足ヲスグニハラカヌ是灸瘰癧物也トイエ
ハカテニヤス井上玄哲被見タシクノ事開瘰癧ト云外科ニ
頼ヘシ子細ハ去年ノ冬大補湯ヲ一廻當春七廻玄哲口
ヲヨリ用タルニレリ必補藥地黄ト用ト瘰癧ヲ出ス物
也トイワレ某ニ頼某療治セス子細ハ病人常ニ好色ノ由
聞殊ニ血性ノ瘰癧物故如石後灸テ益取掛リ瘰癧物口
四目ニ死右ノコトハリラシラシメシタメ記ス可エ文

一 伊勢杉本吉大浦女房足ニ凡毒瘰癧出治メ子細ハ成十三
年後某ニ掛リ十三年目アレタラハキタルトテ悦ビ瘰癧治

右筋延ノ仕掛シ内某不用メ治ニ是改記ス

一 伊勢カノ者下海ヲ煩ビ性満火トテ何呈ノ療治ニテモ不
治外科四五十人ニ掛リシタイニ大ク成鈴口ノ脇ヨリクサレ
出後ニ椿ノ花ノコトク成ラ治一七日ニ治テ子細ハカギ某也
先ニ記ス

一 亀井能登守殿前ノ廻リニ七年瘰癧物ノコトク腫女モ不
痛色々外ヨリシカケアルモ平愈セヌ有時長崎ヨリ
来ル阿蘭陀酒ヲヒタト用痛出色赤ク成佐友度庵
療治口明五十日余不治某ニ牧野圖書語ル某申八十五

用ノ内ニ平愈ノ療治有ト云則二日後ヨリカク腫物上仕
掛赤竜膏山飯来ニ廻リ用テ治ス本輕キ性故早ク治
ス重キ療治ノアトハシヨキ物ト知レシ此性溢火ノ性也ニツ火
下疳ニ出ル時ハ治ル事難ク外ニ出ル時ハ皮肉ノ間也可
工支

一武嘉ニテ年四丁計ノ女腕ニムクロミ呈ニ色青ク出腫先時
ハヒメ物笑フワラウ事身モタエ八計也其跡痛甚アリ内外
サツレケレ氏難治見之ニ何ノ性氏ワカラス名ヲ付タル内
外モナシ河ヲ意ニ詰ル血塵ト見ル性ナリ成呈ツヨクア

夕メテ見ヨト云外科メリロウトラレヨロシヨ恰チ付テモ不
通工夫腫ノ上ニテ毒ヲニキ灸ヲ十四五レケレハ立所ニ上珍ニ
キ性故書出スレ療治理ノナラス所也

一長崎今石原町ニ次郎丸衛門氏者股ヲワカレ前道喜療
治テ治ニ其跡腫テ二尺三寸廻リアリ自休自庵自仰長
共衛何モ而日而五十日呈療治シケレ氏ラスレ見立何茂同
翁温補ノシカケムニ某色ケ也某見立所ハ温補トカ又ユエニ
テラス右腫ノ上ニ一所テシラサシ其夜十一所ニ六而ス又明日ナ
取ニ三寸ハ如此六ルノ内ニ二千八百ス又内某ニ調榮湯用テ三

年ノ上病者十五回ニ付其セズ治スル此療治温補年ノカサレ所見
立ル計也

一松平或部太輔殿腫物シリバズ穴十一有江戸京國ノ外科六
人余療治シケレ氏不治其三十六日ノ内能ス療治ノ事瘡毒
ノ尻蓮故心易シメイチヤ如常フタ膏其サントラ内其五
寶丹三廻也右サントラニバアリ此論永ク成故不書一切ノ腫
物時分ヲ見事第一也口傳

一松井玄仲氏醫者足トノ誤下リコノフシ其アタリ腫物出八年不
治内其ノ事ヲロカナラズ山飯来モ四十斤用ト云其療治ニテ

日ヨリ内ニ平愈サスル

シカケ毎日上ラマキクツシ西内皮氏ニヤキヤフリサントラニテ治ス
内其ヲヨクノミコミ居タレ人ニテ次ノ取イエカ子イタレシ

一柳屋次九衛門下人後カタノアタリ五六寸ク升レ五六年ノ間

自庵一年半自他一年長兵衛門二年ホト其後次九衛門
療治彼是五六年之其見スル林内ニ可治氏次九衛門曰

唐人唐ニ見スルニハ腫物一代治スル物ニアラス醫者書ニモ右ノ通

其曰ハ腫物大明日本ニ平愈サスル物ナクハ外科ハ不入物之
理那事ハシラス今曰ラシエテモ治スト云テ則大塚権九衛門工

サレツメ三十日内ニ平愈ス療治シカケ上ラ一面ニヤフリフタ
膏菜ハサニトラヨケレ氏権在也巧メヤレホノ油ニ苦瓠入
子リ合凡不入極ニス療治毎日如ケメ右ノ自教ニ治スベシ
双一切ノ療治可有エ事也大才覺タ九計書記ス余ノ家メ
ツラシカルニシケレ氏ケテハスイフシ心ニ及呈ノ療治ニリ馬
ニリテハエ夫アル物之ケ上ノエ夫ヲハケニニ有療治ニ

五宝丹方

一鐘乳石 三分 辰砂 三分 琥珀 一分五厘

冰片 上同 珍珠 一分半 龍骨 一分半

ウドケコ

右十二包成呈細ラロ

山飯来一ロ百目水大キ成天目ニテ

一番ハ盃入 四盃ニ 二番ニ 四盃入 二盃ニ 三番ニ

四盃入一盃ニ 煎ニ

右ノ粉菜一包ヲ空服ニ煎タ九一盃ニテ用其後ハ山飯来

討一日ニ吞切

禁物

酒 酢 辛キ物 油物 青キ物 臭臭ノ類
茶 房事堅ク 凡列事凶

一汁方瘡毒トキハニリタル時用ル方也

五牙丹

一琥珀 二分五厘 竜胞 口上 辰砂 一分五厘

童乳石 上同 真珠 二重半 飛白 一分五厘

右粉ヲメ十二貼ニスル

一飯来ラ一日ニ四十日大キ成天目テ水一番四孟入三孟ニ二

番ニ五孟入二孟ニ三番ニ五孟入一孟ニ煎ケル一日吞粉

茶ハ一日ニ一包宛 禁物石ニ日

以テ方無名ノ年久愈兼ムル瘡毒ノ屍蓮ニ用也瘡

毒カレキニ用ル

五宝丹

一鐘乳石 三分 琥珀 五厘 珍珠 二重半 冰片 一分

辰砂 一分 飛白 三分

右粉ヲメ十包ニメ一日ニ三度宛

一山飯来 三十日 杜仲 五片 黄連 五分 黄芩 上同

地 黄 一分 川 芎 一分 大 黄 一分 甘 草 一分

右山飯来一ツメ一番ニ六孟入三孟ニ二番ニ六孟入三孟ニ二

番ニ五孟入七分ニ煎ケル一日ニ用物

けす下痺久煎^愈糸頭痛又八半足冷不自由成^用九

禁物右曰 氣強方

けす疥癬初治^方夕キ^用九使毒又八骨ウツキ身内十^方
サノヨリヤゾ^テ痛^用九

一黄連 黄芩 大黃 兵部 馬菜 甘草 各二

人參 七^分 川芎 三^分

右十包^一包^二袋角^三宛

山飯来一包^二合^テ一廻^三山飯来二百^四廿日^五用煎^六様

一番^二五^三又二番^四三番^五又一番^六半^七三番^八三番^九又二番^十

煎^九けす一日^十用大天目^一之禁物^二曰

氣強方 此方最上

けす便毒マシ身内^三小瘡有^用

一黄芩 白^二 當飯^三 黄連 白^四 甘草^五 茯苓

二^六 大黃 白^七 川芎^八 人參^九 七^分 山飯来^十

右七ツ^分七日^二用煎^様禁物^右曰

氣強方

けす瘡毒残り頭痛目廻^半足冷不自由成^用

一 大黃 五^分 黄芩 二^分 黄連 三^分 甘草 二^分

川芎ニ分 杜仲ニ分 甘草ニ分 山飯来ニ分
右ツニ刻ニ十貼ニ十日用

煎様中ノ天目ニテ一番ニ三盃入ニ盃ニ二番ニ盃入ニ盃
ニ番ニ盃入七分ニ十分一日用 禁物右同

氣驗方

けす瓜の十工筋千ニ不自由成ニ用

一古キ麻ニ分 牛膝日石見川日紫胡日茯苓日
井草ニ分 山飯来 百目

右七ツニメ七日用煎様禁物右同

氣驗方

けす瘡毒滞り目ニ入又ハ身の痛ニ功性ノニ又腫物乳

岩ニ用

一當飯ニ分 芍薬ニ分 川芎日地黄日黄連ニ分 黄

芩ニ分 杜仲ニ分 枳实ニ分 红花日肉桂日陣

皮ニ分 甘草ニ分 セキコクニ分 サイニ日人參

ニ分 山飯来一斤 右七ツニ分七日用

煎ヤウ一番ニ四盃入ニ盃ニ二番ニ三盃入ニ盃ニ三番ニ

盃ニ七分ニ十分一日用 禁物日

カギ菜子

けず瘡毒成テモ下痢ノ内ニモ用口傳多ク之

一人参ノ三分重 辰砂一分下 ウワウー子下 ハマ子下
沉香一分下 百草一分

石粉菜ニメ七本ニ長サ六寸五分ニ一回ニ本ニ度ニカゾカゾ
時ニ口ニ水ヲクワエヒタモノカエテカリニカリ内ハカユハカリ食ス

金瘡振菜子

銅棠湯氏

底ニ血ノトマリカ又ル時ハ四物湯ヲ合テメ用

人參 川芎 けニイロラ先ノ六色ノイロイ

當飯肉桂 黄芩 川芎 白朮 其草 け六色ラ

先ノ四色ノイロイ 大芩 圭心 木香 芫連

右ニ色四イロノコトクアル時は四色ニツラメ香色ニイ

口傳

一是ヨリ某便覺膏菜子

牛黄膏 カラサテイヤ

一 黄蠟 罌目 松脂 口 野牛油 口 杉脂 罌目 乳香 子

ブタ油 子目 右ハ右ツタ膏菜之熱寒氏ニ散ス痛ヲ

上和也 凡名膏 テヤバル

一 蜜陀僧百目 五名イ 日野牛油 四十目 夕油 四十目

明九廿目 白蚘 五十目 油 百目

右フタ膏 菜之痛ヲ止キ身針ナト 踏込名ニ長

白胞膏 徳ニシイブニカスハル 秘方他方ト違リ

一 案檀十あみ 口ウザ油十み イバラ花廿目 生胞ニみタフノ

実油あ十目 白蚘ハ十目 乳香一み 油廿み 野菊花十み

右カタク 疎フタ膏 菜筋 延ヨク 痛止 腫ヲテラスニ

一切散ニ痛ヲ止 筋引ツル下ニ 筋安ノ油上ニテヘニシイフニメリロウトラ
レコロシヨ等寸分ニ合付

血花膏 ヲニコロシヨ

一 黄蚘廿目 松脂廿目 キリニ血十み 子老廿目 紅花十み

胤モ十実廿目 宛ノ内 ウサキノ実テナみ 松脂廿目 モツヤク

日油ハ十目 代葉アギ五あみ

右カタク 疎フタ膏 菜筋 内痛 腫キ身筋 骨ヲ和ケ

一切ノ痛ヲヤハラケ 腫物ヲ引上ルニ長

玉明膏 ゲリジウ 野牛油

代ニ鹿ノ油十牛油十等寸分ニ合キ
鹿ノ油計モヨシ

一 五名異十あみ 白蚘廿目 生胞ニみ 蜜陀僧廿目

唐ノ土あみ モツヤクニあみ 玉乳香 日野牛油廿目

油廿目 右フタ膏 菜一切ノ腫物ノ痛ヲ止散ス

丹身モスチノク夕合テ再之

三虎膏

景按ニサントラニイヨ也

一モツヤクアキ 乳香 一ふキリ血ニハ 阿仁葉一ふ
ハラヤ 一ふ 子ツミチノ突廿月 青木 每木五丁枚
木香 黄柏 沉香 地黄 犬黄 黄蓮 白芷
川芎 サシレ、モクシ 黄芩 芍薬 ケニシニ 當飯
肉桂 人参 各あみ 丹三百甲目 白油 孫ス
右棟様口傳有り

白虎膏

一白蠟 十あみ 土唐ノ土丹目 フタノ油 一ふヤシホ 十あみ 十リコ

あみ 焼ガシテイウウノ粉ソロクメテヤク
後水ニ五日呈ヒタシイウウケ取

竜胞 一ふ

白油廿月 け高用ヤハラカニ子ルニ

赤竜膏

一黄蠟 四甲目 红花 一あみ 下 金錢重楼 一あみ 下 一ウミニふ

黄栢 一あみ 下 其松 一あみ 下 サシレ、あみ バクケ 青牙 一あみ 下

焼 返明丸ノ粉ニふ ゴバイレニふ 白油ニ合

右ツニヤハラカニ子ル口傳

二香膏

桃仁 一ふ

一丁子十ふ 丁香皮 肉桂五ふ 芫花 蛇胆油 罌目
右礫ヤウ油膏 月葉之

ハシリコシ

一芫花 蝮ハ月ヤシ 日 松脂 右油 而 辛 日

石ヤハラカミ子ル

ダツカウ入ル方

一香附子ニふ 五倍子あふ 明凡あお 二ふ

右成呈 コニカニメ

一ハツカチめニ水 蘇あ合呈 入蒸出 ンカツク又 出タハ脱肛ヲ

洗セシタルハツカニテムスホトニメ其後右ノ粉 糸ヲキノ内ニタシ
トモチタツカウヲニギリヲレゴム病人入ル時イヤカレカニハス
ヲレゴミテレハレヲサエテ其跡ヲ和成キ又ニテ一ヨラレツケテラ製
旧トメ灸ヲスル 肛門ヨリ亀ノ尾サキヨリ一寸五分上ナエ
テ右ノ寸ニ三折ナニ宛ス元之け方脱肛ヤクワシ呈ニ出テモ灸之
真妙ノシカケ也

一脱肛出テツヨク痛イロウ事モナラ又呈ニ有時々海ヤニ糸

一ツ刺大ニク^{火ナルベシ}ケムリニテムス則止痛止ト右ノシカケ也

一凡毒腫散ス方 石膏 燒カエシ茶一フクホトハ魚ノ

汁茶碗半分呈右ノ粉菜入鳥ノ羽ヲ刮シ散ス事真
妙

一便毒下シ大芫子 芫連日ソハノ粉ニホ

右粉菜ニメ夜ニ入酒ヲ一度ニ用

一折身菜 アイノカス 山ノイモホ分

右スリ合弁タル時は菜アツク付フタニ紙ヲヨミカニヒキ
サキ付ル如汁ニ三度モスルニ一度ヲナラセモ有け才骨
折レテアテモ痛止ナラセ

一ヒセン瘡ノ方 生ノ大芫 天目ツ 刀切ナニツク

右ツキ合テ油ヲ煉合古キ布ヲ包瘡ニ付テ付テ
用ハテテラキ其明日白水ニテ行水スル又明日塩湯ニテ行
水スル

一腰氣洗菜方 五倍子 枳壳 兵部 各ナホ

右水一ホ五合呈入テ煎 芒硝五ホ入テ右湯氣ニテヒタモ
ノムレ湯ノサメキハ洗ス

一ヤケトノ菜 油貝ニハコベラ一盃入黒焼ニメ粉ヲ山ノイモ

ヲ子リ合テ付大キ成ヤケトニハ白虎膏ニ付ルヤブレテ
汁出ルハアヤシク粉ヲ付馬油

一 小便ツミリニシラニ妙茶 雨路ノカ又蜂ノスラ黒燒茶一
脈呈食ノトリ湯多用 ウツボ草ノカケテ煎用テ良
サントラ膏ヘソニハル内茶 補中益氣湯
一 産前産後療ノ事

一 難産ノ見様母^舌黒ハ死ス又母ノ舌ト唇青キハ母子死ス
一 難産ニテ不生横子逆子腹ノ中ニテ死タル子或ハ後ノ物不下
其時用テ 一ツハク大牛膝中木通小恙小ゴ白皮大
右如常煎用

一 後ノ物下ス方 ^{ウツボ}ウツボ^カ フクリウ^カ ^{クワ}クワ^カ ワ^カワ^カセキ

右粉茶ニメサ湯ニテ茶一服呈ラタヒクニ好ル

一 産後血ヲサシラズ腹痛ニフルイ有ルニ用テ

當飯地黃芍薬川芎 人參 干姜 赤苓 茯苓
各ホ分 右如常煎用モレ血ツヨクト^{ワラ}リカタクハ蒲萸
ラ香色ニメ加

一 懐人傷寒頭痛吐逆疾ツヨキニ用

白朮 陳皮 人參 前胡 川芎 茯苓 赤苓
ホ分

右如常煎用

一 女ツワリ不食カラエツキレ小便ニ血夾リ心^カク^ルシムニ用テ

茯苓 地黃 當歸 川芎 白朮 黃芪 芍藥
干（三錢） 艾（三錢） 各等分 煎用

一 右血カタリ 積聚ニ成タル時ノ方

當歸 芍藥 地黃 莪朮 川芎 三稜 官桂 カニシツ

右等分 煎用

一 白血長血ニ用テ

三稜 芫花 桂心 丁香 子芩 川芎 芍藥 如常

一 右血下ニ用テ

牛膝 牡丹皮 紅花 蘇木 桂心 干姜 白朮 右

如常

一 産後血不下 腹ニ堅リ 有り 痛出テ 立クニ 有ニ 用テ 芍藥

山茱 當歸 白朮 白芷 厚朴 干姜 川芎 黃芪

右如常

一 數年古血不下 血振イ スルニ 用テ 莪朮 三稜 各天 青皮

半隻 青芽 各中 大麥 花

右粉ヲ 糊テ 酢ニテ 和テ 煉合ゴ 三呈ニ 丸一 度ニ 五十粒 宛サ 湯

テ 一日ニ 二度 宛用テ

一 産後アト 腹痛ニ 夕エカタクニ 用テ

當飯于姜川 芍药 香附 兵部 茯苓
肉桂 甘草 各おふ如常

一 産前産後常用方

小麦ヲ六月土用ニ焼酒ニ蓮ノ葉トヒタシ一夜付テ置取
上テテ黒焼湯ニテ酒ニテ茶一服呈宛用

一 日黒焼茶

赤キ大口奥カゲテニメ但一尺余魚赤サゲニ日川膏ヲ
甘草一両 右日黒焼ニ常用ニ用秘方

一 是ヨリ小児療治ノ方

凡年ノ筋筋ヲ双見ルトアレモ明ニ見事数年ノ巧アラサレハ
ナリカタレ只ヤウスラ見又ハ聞事ヲ返テ茶ヲ用カ

一 小児凡氣痰性ニ用方

丁子 干姜 桂心 木香 良香 甘草 各小
白朮 中兵部大 吐噎ニハ 藿香 白梅 加用ル

一 五疳振茶

木香 丁子 藿香 独活 クニロリ 沉香

甘草 當飯 各おふ 石灰 砂子 豆 四粒 毒ヲ殺ス

右物ニ包シフリイタシ用ル

一 小児乳ヲアニス時用方

下子 蓮肉 石留皮 右ホクニメ粉ニテケレホトニ丸

一度ニ十粒 宛サ湯ニテ用

一 小児目ノ中ニレワヨリ来ノ粉ヲチラレタルヤウニ有時鮑

カラノ壳所ヲ成呈細ニメ目ニ入ル水ニ立テモ洗之

一 小児大人凡ニ用下レ葉ノ方

巴豆 一兩毒ヲ取 下子ニ五分 大黃ニ五分 生地黃

ニホ泉ニテ 右粉ニメ丸葉ニスル 小児ハ一里 大人ハ一里 十粒宛サ湯ニテ用

五香散方

藿香 乳香 丁香 沉香 甘草

一 小児疱瘡 ニホ テカイミアルニ用方

紅花 山抱子 莪 兵部 黃連 陳皮 香附子

右同煎用

一 疱瘡出テ熱シカハク時用方

木香 人參 白朮 甘草 白茯苓 葛根

石煎用

一 疱瘡出テ色変シ惡鋪成時用方

人參 當歸 芫 破川 芎 防風 桔 白芷 厚朴 甘草

各本分肉桂々 右丸菜香汁木香紫檀ラ煎是
テ一度ニ十粒宛 ● 呈丸メ

一 小児凡引ツリケ出タレ時又ハ常ノ時性シレス煩ニ用方

紫蘇 香附子 陳皮 當歸 耳草 白茯苓

右煎用ケテツカイヤウニヨリ神妙有

一 小児大人ニモ用

赤龍丹ノ方

人參 ニ分 クズノ粉 ニ分 毒ヲ取テ香ニ朱山シ

兵部 ニ分 茯苓 ニ分 甘イ角 一分 殊麻 二分

菊目石 ニ朱 牛黃 ニ朱 香附子 日 甘草 一分

桔梗 三分 竜腦 ニ朱 タイニ井 一分 辰砂 一分

金伯サ枚 銀泊サ枚

右粉ヲ蜂蜜ニテ煉菜ニスル

一 坂ノ下トテフクヒヤウヤニ用方

鐵石 寸 硫黄 寸 葛粉 寸 芫花 栝朮 陳皮

蒼朮 厚朴 各セメ 甘草

右粉ニメ ● 呈丸 一日ニ六十粒ニサ湯ニ用ルヨリ

一 六君子湯用ルニ

一 肺氣ニ用方

生地黃 熟地黃 杜仲 牛膝 黃芪 當歸

甘草 茯苓 各五分 人參 一分

右ノ藥ヲ燒酒六合ヲ三合ニ煎一度ニ用之方大切

ノ方

一 三五味ノ方

芍藥 附金 當歸 川芎 香附子 人參 桔梗

黃芪 白芷 白朮 茯苓 生地黃 各五分

沉香五分 井草 木香 一分

右粉藥ニメサ湯ニテ用煎藥ニモスル産後千員之
氣付ニスル之但香附子ヲ大黃ニ代エテハ根葉ノ秘術湯也

一 口中ノ藥 乳香散

乳香 三分 帛巾ニ包打碎女焙リラケハ子ハリ出ルヲ

ハシラケハカハラクヲ鉢ニテ成呈細ニスル

は糸檀 三分 明瓦 一分 ヤキカエシ 丁子 一分 生地黃 三分

スコンブ フリテ目ニテコニカニメ右ノ藥トニセテラロス

細辛 三分 泉 三分 夜付キサレカアフル 辰砂 三分

一 右粉藥ニメスル之

一口中ノ薬方

寒水石 三分 ヤク石 羔 三分 ヤク其学 三分 至 青黛 三分

芡連 三分 辰砂 日 柳砂 五分 竜腦 五分

右成呈細メ便瘡毒ノ性テ口中腫痛或舌ヤ

用

一鼻タケノシカケ

鼻タケ初出タ九時丹凡ノ燒迄シラ粉ニメ鼻タケノ

根ニ付一時計後コヨリラ入卷付セ引扱ハ仕掛真神

妙ノ巧アリ

一川眼洗薬

石葛蒲ノ根 和天芡 桃仁 各五分 明凡 一分

如常蒸熟サシテ目ノホトリ一寸呈ヨケ洗之眼ツラレテ

モ痛有内ハ治スル之

内某ハ敗毒散良

此覚書他見他言有回敷者也傳他家ニテ悪キ所ヲ

イハレテハ師ノ恥也門第必心ヲセハクメ療治アヤウシ

蟹ハ甲ニ合テ穴ヲホルワレハは書ノ内ニテ自由ヲスルヲ

另成事ヲレラセヌ内カ命也可秘

元禄七甲戌年十二月吉日

長野 宗信判

二凡父松脂廿月白蛭百目 椰子油亦目牛油廿目麻油廿目雞油廿目

野牛油廿目木儿廿目凡油廿目羊油廿目油廿目又廿目コハクノ粉十五目

改菜廿目石脂廿目硫油入煉下レテ天禮面十五目

煉

脂廿目氣廿目改廿目雞廿目麻廿目牛廿目上廿目油廿目又廿目硫廿目油廿目

一味下秘作天禮油云

當級 川芎 大芫 芥 蓮 伏芥 金箔 不レイセ比若反

杜仲 兵部 津退 山飯 末 甘

一考二云三又三云三又一考三云三又三云

河瀬家傳來

一子相傳其後久中

元祿七年戊午十二月吉日

Blank manuscript page with vertical lines and faint bleed-through text from the reverse side.

阿蘭陀**袖藥**取樣秘傳油一卷書

祐明松井甫庵

是之次津田木陰

是之次田名玄春

一子相傳其後火中

Blank manuscript page with vertical lines and faint bleed-through text from the reverse side.

油取様之次第

ツクリヨニアサト云

保田
油仕也

アガザノ實ノ油ハ先六月土用ニ實ヲトリテ懸留目五十目ニ古酒
 々ヨクニ一ツ入カキ合一日一夜至明日ニ亦一ツ入テ四五日モシキテ
 油取トヤン五粒ニ月加一夜至一ツ入カウカヨナズニ蒸酒ノ香少
 ク無之時布ニテヨスグフラスコニ入口ツハリテ七日シキ可仕フ
 野菊ノ油ハ花懸目一斤ニ酒能加減ニテヒメシ十五日シキ其後
 保留登加留ニ十日加テ如前蒸テ仕シ

白百合花ヲ取置ノヤヨリ五分ホト置キ鉄切去ロウサノ油等

野菊ノ油ハ花懸目一斤ニ酒能加減ニテヒメシ十五日シキ其後保留登加留ニ十日加テ如前蒸テ仕シ

アライゲノ油ハ花卯月十五日ニトリテ保留登加留ニヒメシ

ツチチ古酒ヲ加紙ニテロシ能ク張テ至四日目ニアケテビイ

ドロニ入りケニ不綿ヲゴザツト不蠟ト松脂ヲワヤシカケ取弁

皮ニシテ不ノソラニツリアマツ通サヌヤリニテ百日通シ

取取出シカウカヨニ蒸テ布ニテヨシツウヤ

ツクリヨイヨト云

白ニリノ油ハ花懸目一斤ニ古酒ニ合ニツケ之日之夜置テ保留

登加留之段入其後蒸テ布ニテヨシツウヤ又油入テ二日目ニ

蒸シテ仕也

手

又ラザノアゲラの前

ラブリヨイ(リ)コト云

ラトキリ草ノ油ハ土用ニ花ヲ取懸日四夜日ニ保る釜加留百目

古酒取入七夕ニテ七日置シ油入テ一日メニ又花之後入七夕目

ノツヤノ八日メニエケ布キテ用釜様何モ月前酒ノ香去時分

ツリヨスアト云

ハスノ油全ノ葉ヲ取テ細リ刻ニ保留釜加留ニミム(ニ)ミヌスコト之日

之夜ヤ四日メニ上ケテ蒸シ様ハアワノ立ヤムニテ

コニヒナ草ノ油石ニ日前

ラブリヨコヨラ

コアライノ油ハ花懸日百目ニ古酒キイサキチヨクニエツ入八日

置其後又ホントノ油二百目入蒸布キテコス

白ツ、シノアグラ 右ニ日前 ラブリヨソク

イニトノ油 葉ヲ全ニテ二十目古酒ニヒメシニ日ラキ四日メ

ホントカニ一合イシニ十日置お葉ノツカシ九程ヤコジ白鍋子

入布キテコシ用

ラキキヤノモ日前也 花盛ノ昔

丁子ノ油ハ懸日ニ十日保る釜加留百目入テ一日一夜置古酒

キヨリニエツ入セ日ラキ切酒ノ香ノク程蒸シ布キテコシモケ

一 沈香ノ油ハ細ク申サシ保為堂ニヒタシ能ク煎出シテモ吉ニ

ケヒタシコトコトクノモトニ

一 ヒケシタシノ油其佐刻粉ノ保為堂加苗ニ浸シ能クテ風ノク
タラサシヤリテノサムシテ布ニテコシヤスラ去シ

一 竜腦ノ油者茶碗ニ密シヌリテ竜腦ヲ入ヌリ又密ヲ入加
減ノヒタト摺合ホントサ加其佐シムニ

一 生肥ノ油ハ口茶ノ内ニ初ヨリ密ト油ト等分ニ合テ仕シ

一 秋之本ノ油ト云者アハクヲトリ刻ニ保為堂加苗ヒタシヒ浸テ
十二日置皮コカニ襦為布ニテコシ月

一 口秋ヤニノ油ヤヒ取テホントナニ見合入煉テシムノ代葉ニツク
テ吉

一 松ノ油ハヒチヲ能クヒタシヌリテ細末ノ保為堂加苗ニ浸シ

テ七日置油者ノウセニテ蒸シテ取シ

一 秋ヒテノ油モ如此ヌチロリニツ内ニ入下ニ ●是襦ノ穴ヲ

ケテ其下ニ茶碗ノスケテソクト火ヲ可燒ジ子シノ油イテ

ハ穴ヨリツタケ出シ

一 沈香ノ油モ此傳ヌシ右加様ノ類ハ何モ如クシテ去

一 葉ノ本ノ油ハアハクヲ掛目四十日古酒五丁位ホルトヤル百々ニ色

一 ツクノ日ヲヤテ四日メニホリヤキ葉ヲツクニテ五丁位入テ十二日

ス菓テ蒸ツシ用シ他名ノ油仕入貯テ子々々肉桂五ト細末ノ加
久年母花之油ハ掛目ニ投ル古酒或投ル保為登ハナク也
ウケリアセ廿内エ浸シ日毎テ蒸出シ華之色香色ニ成時
ニ酒ノ香モ去バ布ニテ濾仕シ

一 蜜柑之油 右日前

ワタリヨロウライ子 黒フタノ蜜油 フノミヲ日乾粗皮去肉ヲ取赤ノ錫炒袋入朴木ニ
ツノノミノ油ハ香色ニウリテ押ツテシテ保為登加為ニ浸仕也
テ可取也ナ油ノ如シ
アツ色ニ成程ヤテシメ取モ去

一 大凡子ノアブウリテシメトリニスズシ

一 赤甲トモウリノ油保為登加為ニ浸テシメテトシ

一 カイロノ油ハ蒸ホハヌリモノニ入フタシシテ置一吋ニ見シ白
ク又ニんズシホントヤンサツ仕仕シ

一 蛸之油ハ山蛸 一方焼研ニテエ氣ヲ洗乾シ其右アセトウナノ油ニ入酒ヲ加錫ニ入微火ニテ
掛目六寸目水ニテ能洗テ古酒ヲ四夜ニ入
葉酒氣ナリ成時布ニテ濾シ使

一 一日浸保為登加為百五夜目入蒸仕シ

一 狐之油ハ皮ヲ去骨モ肉モ切込テ水又ブクト入油浮ク程
蒸シツヤンホノ還テウチニ油ヲスウケテ赤水氣ニテ

一 蒸仕シ四足ニ足ノ油取様何シモ如此シ

一 土ノ油ハ能ツエヌシ土ヲ取アウチセウケテ後ニ土五十目煉金保

一 質登加為百目入一セロ還テ蒸布ニテ濾用

一 隙泊ノ油者能スキトナリタニ隙泊ヲ粉ニ五十月係ル者加

留百申夜ニシテ今五入テ十日置テ布ニ干海ワツテ今

一 丁ハブトウ酒ヲ代ニツテフシ

一 サシゴシエ之油モ右同前

一 タシハノ油者エノアブラニ同前

一 ナリバシノ油モ同前

一 セヤヤラハハントカニ浸シセロ置テ布ニ干海其位

一 シツメサリ同前

一 臭んイノ油何モミトリ成ゴシ

口傳アリ

一 玉膏ノ油モ皮ト手足シ去リテ肉バカリヲチラウ釜鍋ニ干蒸淨

一 タン油ヲ取テ亦蒸ツテヤリ

一 若奴何ニテモ保留者加る浸テ古酒が家又令加減ノ蒸也

右之油能毒を去る

血ヲ散シ痛ヲ止腫ヲヘラス

血ノ不通ニ付テ苦痛止愈也下ニ書

アヤサノ油

(魚ノ魚通石ニ付テ苦身シシレラボヘナキハニスリテ木綿

アサノ油

(血ヲ去リ腫ヲヘラシ愈シ湿ヲ去セ肺氣脚氣ニヌリテ

アサノ油

(右同前一切ノ腫物大夏ヲ可知ニハ油ヲヌリテ見バ大夏ノ物ニ

駒引草油 (痛ヲ止腫シラヘラシニツラサリ愈スヤリ) 小兒ノクサルイ

コアライノ油 (疵ノ油若能愈スクサリタシモノ、向ニ可引キツ

白ツ、シ油 (汗氣有ル物ニ昔凡腫ノハシラヘラシ痛甚タシキ

蓮葉ノ油 (一切ノ腫物腫シラヘラシ痛ヲ去愈シ湿ヲ散シラハ

ヲトキリ油 (一切ノ痛ヲ去疵痛腫難引、疵ヲ能クヤシコハハ

イノント油 (湿瘡腫ニ任シ腫ヲヘラシ痛ヲ止物ヲ愈シ

ウイキヤリ (イノントノ能ニ日有シ)

丁子ノ油 (痛去腫消シ温メ血ヲ通シ膿ヲ後キ愈ス

沈香 (疵ノ痛ヲ止メ愈ス)

ビケシタニノ油

腫ヲヘラシ愈ス

竜胆ノ油

(痛甚シキ腫シラヘラシ愈疾痛ホヤチニ昔火

熊之胃ノ油

右日有

六香ノ油

(下痢ノ腫ヲ消シ愈ソラハツ痛腫シラヘラシ

枚ノ油

膿ヲ吸惡肉ヲ切能愈シ腐シ行リ物ニ付テ昔

口脂ノ油

テレメンノ代ニ仕能モノライヤス

松ノ油

腫ヘラシ膿ヲ吸愈腐ヲ止テハゴエラ能ス

枚ヒテノ油

右口前

桑本ノ木ノ油

腫ヲヘラシ疵ヲ愈痛ヲ止メ血ノ通ヲナシ腫物ニ

久年母ノ油 (癩ノ痛ミクサレ腫ヲ止メ虫ヲヌヤス色悪キニ付テノ吉男女ノ手足キメ悪キニヌリテ吉不断ヌレバハカエラ能ス)

蜜柑ノ油 右日前

ナシノ油 (血ノ無通色アリクニエラホヘテ中ホニ付テ吉ホウサキノ色悪ニヌリテ吉。タ、レニ吉)

ワノ實ノ油 去痛愈汁先立愈兼ハ物吉難愈草燒ドニ吉

大楓子ノ油 (古瘡クワシ愈兼或者之病ニテアソコク、クワシ腐入り念兼兼ハニホ小兒ノ髮瘡ニ松ノ油ト生胞サ加(可有)一風タエ愈也)

赤トシボウノ油 右日前万ニ吉一切ノタレヲ能スヤケドニ吉

アイルノ油 腫ヲ押去痛執ツラサシ天蛇毒ニ妙を愈也

蛭ノ油 第一天蛇毒痛ヲ去腫ヲ消シ能右日前

狐ノ油 (去湿冷テヲホヘサトコロ吉中凡。ノバヤミノ難成キ所ニヌリテ可笑カレシん)

狸之油 第一腫ヲへし止痛温メ愈也

ヤキリノ油 痛ホメ中ヲ去リ吸愈也

フタノ油 吸テ能愈ス痛ヲ止ハカエラヨウス知成油アリ冷テヲボエナキ所ニヌレシ赤髮ノシホヲ能シアヤシ後シシヤヤカシテ色ヲ能スむツヤヲ出しじヤリブキヤリニモワシユエニ煉ヤ也

猪油 能愈シ痛ヲ止吸ハモ右惡症シナガス

ウシノ油 物ヲ能愈止痛瘡ヲ去リ能愈惡症ヲナカス

鳥ノ油 うち中ホメ中ヲ止愈惡症ヲ去リ腐ヲ止メ上皮膚ヲ生ス火毒ノ痛ヲ止ム良也

木ノ油 中風難叶所ニヌリテ血ノ通ラナシ冷タム知ラア

ウサギノ油 小兒草氣ニ吉其效腫ヲへし火毒ヲ去灸瘡ヲ愈ス

猫ノ油 (氣腫ノ色ヲナラシ腐ラ止ムニ病クブシ念兼ニ赤
瘡癩ヤブシムニ念スぬ々久中程ヨシ)

子スシノ油 能右ノ前ホムチ痛ニ古筋ノビザンニモ吉シ

テシノ油 諸ノ痛ヲ止ム念ス

土竜ノ油 一切ノ腫物念シ腫ラ消痛ホムチ去止血痲念シ

ゴノ油 (熱腫ニ任シラフチホムチ止痲ノ腫ヲへラシ右ノ外色
赤クハシ痛ニ赤ハ灸毒ノ痛難止ニモ吉)

コハクノ油 万吉第一痲痛止念其外何ニモぬ

サシゴシノ油 (右ノ前一切ノ腫物痲ノイエテアトノ色去リ
チマヤニ付テをぬ々万吉)

クハシノ油 (些痛吸念古瘡クエ入久シク念兼赤肉ノキヤチ甲ニ
ぬシ其外ヤラシカキ付テ一夜ニ切シ去ン)

メウハシノ油 (右ノ前丹藥トホ分シメ凡毒ノ痛止リ兼赤スイ分痛ムニヌリ
テ可美ニホクサリ深ク入チラニ久シキ葉チ兼赤ホ分ノ可白シ)

石カウノ油 万ノ腫ヲニスリチハ腫ヒラへラシホムチワツテ止ム
イヤスモ毒クサツンガサ便毒トドニムンベシ男女共ニ
面ノ瘡ホハ良腫ニチ面腫色赤ク痛ムニヌリテ
ヨシ

ミツメサウノ油 (万ラ能念スシラシラト下腫ラへラシ下痛便毒
ノ破テ愈ヤチチモぬ々)

クモシノ油 (一切ノ腫物膿氣痛ニモムシヌリテ可白腫成テ
吸フチシク付シハ諸腫物アトナラシ)

フカノ油 (右ノ前能念ス赤痛右魚尾燈是ニ色ニ松脂ヲ入テ能煉
語テベツチノ代ニ任フ口傳)

ス、平油 腫ヲへラシイヤスシ

コイノ油 悪症ヲチアシ腐ラ止ムヤス乳若乳瘡乳腫赤腫
痛ニ能ぬ々)

ハエノ油 止痛念草氣ニチ氣けヌズ出ニぬ々

アユノ油 乳腫一切ニ吉ウツチホムチ腫痛ヲ止ム

エノ油 (下疳痔破し腫痛ニ苦腫。ヤイノウタ袋ノ如クニ成テ
難クニハクノ油。竜胆ノアブラヲ加テウシ)

クマノ油 湿ヲ去クニナリテ和ケ痛ヲ止ム

ハモノ油 筋ヲ和ケ痛ヲ止ム

ニスノ油 (万腐ヲ止メ腫ヲ吸イ流シウツキホム中ヲ止メシビシ冷
テラボヘナキ所ニロヲ浴湯ニテ洗イヌンベシカ)

人油 疔痛コワバリテ和ケ腫ヲ消止痛不腫愈シ

カニノ油 (疔和ケ愈中凡。ノベヤ、ミノナリカクキヲ中ナ
血ノ通ラ能ヌ)

カモノ油 右日前

ニハトリノ油 右日前

ヨシコ鳥ノ油 疔ヲ能クヤスクツコヲ入ル

トナヤメ高都ニテスツギトニ
イシヤノ油 右日前 疔疔古疔難愈吉シ熱腫ニユリテ
熱ヲサニス

川ヤラジノ油 (疔疔ニテトワタリイシノウツリテ痛ムニミ
テ吉。無キ時ハコハクノ油ヌンベシ)

クマノアブラ 血ヲ止疔ヲ愈セ

カラスノ油 (冷々ん所ヲ温メ筋引ツリノビヤクテ和ケ血ヲ
通ス痛ヲ止能愈腐ヲ吸テ愈ス)

キシノ油 右日前 瘡毒難愈エ

ヒバリノ油 血ヲ通(ヤム)リテ和湿去愈好シ

ウヅラノ油 右日前

ツハメノ油 (カクニ)リテ和ケ湿ヲ去リ腫ヲヘラシ愈ス疔疔痛
ヲ止)

クマノ油 中風之無覺時亦者冷シビシスル所ニヌリ可巻

ワレノ油

同前能痛止カ又一リヲ和テ腫ヲ消シ万吉

ワレノアブラ

口若氣腫ニテ穴アテ黄汁不断出んハ

ラウノ油

一切ノ腫物口明テ腐入止ラサレラ止テ腫ヲ消シ
愈ス痛止テウツキホメテ止んハ

コエントロトモノ油

一切ノ腫物痛ヲ止メ方カウ菜ニ合テ仕ヤ疵ノ
コワバリヲ止メ腫ヲ消スナリ

ミイラノ油

一切ノ疵ウツキホメキヲ止メ亦ハ打傷ノ痛ヲトメ
腫ヲ消シ妙用テハ氣ヲ和セウラニス水ニラボシ
無症ニ成ラヌエテしハ有ぬ万吉

人カニノ油

瘡ノ痛ハ此ノ病古瘡ニスル

ラウノ菜

諸ノ腫疼キ止メ愈專金瘡ニ若男セノ面ノカ
サツ愈アトナリハハカヘラ能ヌ妙ナリ

ホルトヤン

一切ノ膏菜ニ煉仕シ万ノ痛ニホメキ血ヲ散シ
テ腫ヲ消シ愈ス

テシメンノ油

右日前能吸膿ヲ流腐ヲ止ム

ウミヤシホ油

金瘡ノ痛止メヤヌナリヲ和テ愈ス小兒ノ腹ヲ
ガスミアイノ汁ニテアトナリハ万草氣ニ善ナリ

ハブテコブラ

一切ノ毒虫ニサシ咬シ痛腫不引ニ水ニテノ可
ハ疵ノ痛ヲ和テ虫ヲコロス能愈ス万吉

ウニカウん

毒ヲ消万ニ昔ハブテコブラニ日前ノ妙鼻血ヲ止
メ其外一切疵ノ血ヲトムル

ヘイタラバサん

右日前万之解毒外仕テハ腫止痛止ル

熊鷹ノ油

一切ノ腫物金瘡ノ冷テ痛スクバハヲ和愈シガツ
ツラ出ヌニヌリテ若温腫ヲ消其外万吉

乳香ノ油

一切ノ腫物痛ニ甚メホメテ難愈ニヌリテ吉

没薬ノ油

石口若吸イ腐レテ止愈スカヌナリヲ和テ吉

花之水

魚ノ肉ヲ能シ男ノ年足面ニヌリテツヤヲ出シハダエヲ
能ス冷シビシ魚鱗ヲ所ニスル

鹿ノ油

膿ヲ吸イ瘡ヲ止愈スル

アゼタキスノ油

（疾キホム中腐ラ止腫シラヘラシ能愈ス膏草合
テ方ニツカフナリ）

生肥之油

（疾キホム中腐リ有ニ付テ膿ヲ流愈スルにせシ瘡
ヲ能ク湿ラ去）

巴豆之油

（瘡リ切シカホム中ニヌリテカラミコキウシラ拂テ
止瘡シ）

ヒシノ油

（日若ニ色等分ニ合万之口明キカホム中ニツケテ口ヲ閉キ
膿ヲ吸也）

アゼタウサノ油

（万ニ若何ニテモ久シキ疔氣腫ルイ其外腫ラヘラシ
和テ止痛ヲホム中ヲ去止瘡肉ヲ生万ニ吉也）

ラツトセノ油

（疔腐リ痛ヲ止愈皮ヲ生ス金瘡初ニハ已ニ一切ノ草氣瘡
氣腫物冷テ痛ニ中凡ノ節バリ痛ニ凡腫ノ痛ニ止ミカ
タキニ妙ナリ古瘡破下瘡腫テ赤成痛難止キ破血
血ノ疔ニ女人前損シタルニ）

川ウツノ油

（能右ノ前濕腫ニ仕也濕氣ヲ去カヌリ腫ヲ和ラテ節氣
脚氣ナユスルムニ女人ノ腰痛コト有を妙シ万ニ吉）

虎肉ノ油

（万ニ吉血不通ニ患ク冷テ無患ニヌリテ可巻ニ持
ノ痛止愈サラシテ濕深物ニ吉妙）

アカコノ油

（三病面損色悪此ニ成テ腫或者クツシ手足ノ指切カリ
テ腐リ難愈ニヌリテ止瘡愈ス一日ニ三度ツアテ妙也）

白コノ油

右ノ前ニ

男於五歳ヨリ

之疔氣近之者生肝ヲ取テ油ヲ仕テ万ニ吉又陰干ニ

末メ仕シ是モ之病ニ用如前也男者女ニ用女者男ニ用是妙也

男ノイニウラ切油ヲ取テ女人ノ下疔ニスレハ何程クツレシサシキトテモ

能愈を金瘡ニハ猶以妙也

世ノヒツリ取ニワ五分外ハ黄ハニツカテテクルル

唐瘡下疳便毒瘡未二三年或者

四五月及骨痛腫し痛むハ

草解

百二十日

連翹 一匁

木通 一匁

桑白 七匁

白せ皮 一匁

芒角子 一匁

牛膝 一匁五分

大黃 二匁

山梔 一匁

忍心丸 一匁

甘草 一匁

右掛合拾四帖二分二七日二用

煎法

一匁ニ水三盃入一盃半
煎し二匁ニ水三盃入

入一盃ニ煎

三匁ニ水四盃入八分ニ煎用但第一服ノ煎様

亦方

黃連

芩苓

山梔

一匁五分

川芎

當飯

芍藥

一匁七分

忍心丸 一匁

牛膝 二匁

防風 一匁

芍藥 一匁五分

荊芥 五分

荊芥 五分

苦辛 一匁

甘草 三分

山梔 一匁

百月上々吉

煎様右日煎し

下疳瘡妙藥

阿仙菜

白水ニ七日七夜サウシ
テ末ノ之ヲ

經粉 一匁五分

丁香 五分

蛇骨 二匁

辰砂 二分

右末ノ可甘州也

阿蘭陀秘傳ノ痰切ノ妙方

能毒

一切之痰氣中風或風毒咽咳ニ卷コト正重クノニト痛ム
子コカシ痰切シヤクニ氣付ケ男女民虫毒亂ニ其外
月ニ吉妙

氷砂糖 三十日

乾姜 三分

白蜜 四十日

人參 二分

檳榔 一匁

丁子 五分

良香 七分

熟地 二分八分

甘草 三分

右何モ細末ノ上々ノ古酒ニテ一日々中ツメ蜜ノ如ク成々ん時布ニテ
 瀉置也酒ノ香カモ有シバ惡シ西赤膏トコツミシテ氷ヲ未ノ入亦
 乾美のみ、未メテ右ノ内ノ入カクニリニツクニテ練持シ但香箱
 ニ入練葉ニシタクハ如常也牛皮ノ如クニ持時ハ錫ツクツクニ時
 アゲテクイサリ印持セコゲツクニハ惡シ能加減見九才一也如シ
 可秘ナリ

阿蘭陀秘傳五色膏

下痢金瘡尼ニ好

辰砂十 麝香二 子り一 唐油一 生肥一
 キリ一 血一 麻牟天伊賀十 蠟油五 猪油四
 ニステイ三 黄一 セウラ三 保留参加留一 白蜜一 香油一
 右煉合化ナリ

能毒一疔之腫物止痛惡症流腐入ラ止メ肉上愈ス(秘膏也)

フルタアナ

經粉十 唐土一 玉子ノ油三 白蜜一 白蠟四 テシ三
 シラユリノ油三 竜胆五 ラウ葉一 ハブテコブラ一
 保留参加留一 右煉様口前

能毒一疔腫物十ノ物セツハツ愈ヨリテ此葉斗シ以テ
 仁まづしめ也肉上上皮ヲ生愈スハ又エラ能ス

